＜定例会の主な議題及び要旨＞　　令和７月２月６日（木）

【協議事項】

１　福岡県警察の組織に関する規則等の一部改正（案）について

（警務部）

警察本部から「令和７年春の組織等の改正及び地方警察官の増員に伴い、関係所属の分掌事務、警察本部及び警察署の定員並びに警察本部及び警察署の係等を改めるため、福岡県警察の組織に関する規則等の一部を改正する。本件改正案について御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「駐在所から交番への見直しは、管内人口の増加によるものか。」旨の発言があり、警察本部から「管内人口の増加や、それに伴う業務負担を考慮し、体制を強化するものである。」旨の説明があった。

公安委員から「人口の増加等に伴う体制強化については報告があったが、人口の減少に伴う見直しは行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「今回の組織改正では、比較的業務負担が少ない警察署等の人員を削減し、より業務負担の多い警察署等に配置するなどの見直しを行っている。」旨の説明があった。

公安委員から「民間企業等では、先端技術を活用して業務負担を軽減させる取組が行われているが、県警察ではどのような取組を行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「今回の組織改正で「デジタル・先端技術活用戦略室」を設置し、県警察においても先端技術の活用に取り組んでいく。」、「人口減少の話題も出たが、ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺や悪質リフォーム業者の問題など、都市部はもちろん、地方においても対応していかなければならない事案が発生している。この種事案への的確な対処や、警察力の効率的な運用という観点からも、先端技術の活用等に関する専門部署を設置し検討を進めていくこととしている。」旨の説明があった。

公安委員から「統括参事官の職に警察行政職員も充てることができるようになるが、どのような分野での配置を考えているのか。」旨の発言があり、警察本部から「どのような分野の人材を配置していくのかは、今後の検討課題である。」、「多くの部門にまたがって調整等を要する業務も出てきており、例えば会計や庶務等の分野で、専門的な知識を持った警察行政職員に全体を見てもらうような場合が考えられる。」旨の説明があった。

【報告事項】

１　福岡県警察音楽隊第６０回定期演奏会の開催について

（総務部）

警察本部から「２月１１日、アクロス福岡の福岡シンフォニーホールにおいて、福岡県警察音楽隊第６０回定期演奏会を開催する。プログラムの第１部ではクラシック、吹奏楽の名曲を、第２部では現在話題の歌謡曲、往年の名曲と呼ばれる洋楽などの演奏を予定している。当日は、ＹｏｕＴｕｂｅ「福岡県警察公式チャンネル」でライブ映像を配信する。」旨の報告があった。

公安委員から「演奏会当日を楽しみにしている。」旨の発言があった。

２　詐欺事件被疑者の逮捕について

（刑事部）

警察本部から「久留米警察署ほか５警察署及び捜査第二課並びに佐賀県警察は、令和４年１２月ころ、従業員の休業日数を水増しした内容虚偽の申請書等を厚生労働省のオンライン受付システムに送信して、雇用調整助成金の支給を申請し、令和５年２月ころ、会社名義の口座に２，２０２万円を振込入金させ、だまし取った詐欺事件について、２月３日、久留米市居住の自称自営業の男性ほか４人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「不正に得た助成金の使途は判明しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「具体的な使途については、今後の捜査で明らかにしていく。」旨の説明があった。

３　高校生自転車ヘルメット着用促進リーダーズグランプリ活動結果発表・表彰式について

（交通部）

警察本部から「高校生自身が自転車ヘルメットの正しい着用方法を実践し、周囲の高校生の模範となって、自転車ヘルメットの着用を促進する活動を行ってきた「高校生自転車ヘルメット着用促進リーダーズ」が約半年間の活動結果を発表するとともに、活動が優秀なグループを表彰するため、２月１５日、警察本部において活動結果発表・表彰式を行う。本活動には、県内の高校３０校から３７グループが参加しており、今回は書類選考を通過した１５グループが活動結果を発表する。」旨の発言があった。

公安委員から「活動に参加しているグループの学校や地域は様々なのか。」旨の発言があり、警察本部から「県内各地の高校から参加しており、グループは５人以内となっているが、同じ高校から２つのグループが参加しているところもある。」旨の説明があった。

公安委員から「開催時間を見ると、審査時間もしっかり確保されている。」旨の発言があり、警察本部から「書類選考で１５グループに絞っているが、各グループとも、高校生らしい豊かな発想力と行動力で、様々な施策に真剣に取り組んでもらっているため、主催者側としてもしっかりと審査したいと考えている。」旨の説明があった。

公安委員から「この時期は高校生も何かと忙しいと思うが、表彰式等は今後も行っていくのか。」旨の発言があり、警察本部から「本年４月からは県立高校において自転車ヘルメットの着用が義務化されることなどから、今後の開催方法や時期については検討していきたい。」旨の説明があった。

公安委員から「高校生自身が活動する意義や価値も大いにあり、それを県民に対して広めていくことが重要であるため、形を変えてでも続けてもらいたい。」旨の発言があった。

４　令和６年度九州管区広域緊急援助隊合同訓練の実施について

（警備部）

警察本部から「２月１３日から２日間、九州管区警察局と熊本県警察の主催による令和６年度九州管区広域緊急援助隊合同訓練を実施する。訓練には、陸上自衛隊、消防、熊本ＤＭＡＴ等７機関が参加し、大規模災害発生時の迅速・的確な災害警備活動を行うため、部隊の現場対処能力の向上と相互の連携強化を図る。」旨の発言があった。

公安委員から「訓練参加者の規模はどの程度なのか。」旨の発言があり、警察本部から「九州管区内の各県警察から約４００人が参加する。」旨の説明があった。

公安委員から「災害発生時は、どのような指揮系統なのか。」旨の発言があり、警察本部から「本県であれば、警察本部、管轄警察署に災害警備本部を設置するとともに、災害現場付近に現地指揮所を設置し、災害警備活動を指揮することとなる。大規模災害となれば、様々な機関との連携が必要であることから、各県持ち回りでの合同訓練を行っている。」旨の説明があった。